

の形成を進めるためには、三地区を含めた久下田北部第二地区約四十ヘクタールを一体的に整備推進することが必要であると考えている。今後は、周辺の県営畑地帯総合整備事業や県道西田井・二宮線の道路整備事業との整合性なども含め、地域住民の意向や地元関係者の動向、また、本市の区画整理事業の実施状況も勘案しながら、久下田北部第二地区全体の整備の進め方を検討していきたい。

**柴 議員** 地元住民の意向調査を早目に実施はできないか。

**建設部長** 平成二十五年度の予定であるが、まちづくり基本構想及び整備手法の基本計画策定等の委託を予定している。その中で意向調査についても考えていきたい。

**広域ごみ処理施設に関する  
公開報告会・討論会の開催を**

**大根田(悦)議員** 来年一月十七日に広域ごみ処理施設の起工式が行われるが、この井頭周辺地域、大内地区をどう変えていくのか、大内の将来性・真岡の将来性をどう捉えているのか、施設が建設されてから十年後になくなるのか、市

長は、市民に説明する責任がある。公開による報告会や討論会をやるべきと思うがいかがか。

**市長** 芳賀地区広域行政事務組合では、広域ごみ処理施設整備・運営事業の事業概要や取組経過等について、随時、同組合のホームページや広域広報を通してお知らせしている。また、市議会にも定例会ごとに経過報告を行い、常に事業の進捗状況を公開している。

今後は、来年一月十七日に建設工事の起工式が行われ、本体工事に入る計画であるので、工事中の安全対策や工事の進捗状況をはじめ、ごみ処理広域化に伴う分別資源化、減量化等について、同組合ではホームページや広域広報等で定期的にお知らせし、広域ごみ処理施設整備・運営事業の全体事業について、ご理解が得られるよう取組んでいきたいとのことである。このようなことから、同組合では、公開報告会等を実施するということ考え方は持っていない。

**公共施設マネジメント白書  
作成の考えは**

**大根田(悦)議員** 市の保有する公

共施設の一部が老朽化し更新時期を迎えつつある中、公共施設の耐震状況や更新コストの把握など全庁的な管理が必要であると考え。今後、資産台帳による更新コストの把握や公共施設のマネジメント白書を作成する考えがあるか伺う。

**市長** 本市における公共施設の把握、管理については、現在、財産台帳により土地や建物の面積、評価額、建築年次、主体構造、耐用年数等を把握している。耐震化については、市有建築物の計画的な耐震改修を実施していくための「市有建築物の耐震化整備プログラム」を策定中である。また、市庁舎、市民会館、学校など規模の大きな施設については、個々に年次計画を策定し、中長期的に健全

な財政運営となるよう配慮しながら、改修等を進めている。

現在、公共施設については適正に管理運営しているが、施設の老朽化が進み、合併により施設数も増加しているのも事実である。こうした点に着目して白書を作成することは、施設の二元的な管理に有効であると思われるので、本市にあった白書の作成について調査・研究していきたい。

**真岡駅西地区を  
新市庁舎の建設候補地に**

引き続き良好な市街地を形成するため、行政が関与できる範囲において取組んでいきたいと考えている。

**高橋議員** 真岡駅西地区に市役所新庁舎を建設することにより、市民の夢が、希望が、元気が、そして何より中心市街地の活性化がでけると思っている。この地での新庁舎建設は、一石三鳥にも四鳥にもなることは誰の目にも分かるベスタな選択だと思っていかがかか。  
**市長** 福田屋百貨店真岡店及びベイシア真岡店の跡地については、民間による開発行為としての利用計画が進行している状況にあるので、市が主体となって駅周辺を再開発することは検討していない。

また、駅西地区については、当該地区の用途地域が商業地域であることなどから、周辺地域の土地利用を考えると市庁舎建設には面積も含めて適さないのではないかと考えているところである。面積は、四千六十坪ほどであるが、今後、庁舎検討委員会の中で、どの程度の面積が必要なのかというものも出てくると思うが、四千六十坪であると、駐車場を含めると、非常に足りないのではないかといい思いをしている。



真岡市民会館



真岡駅西地区